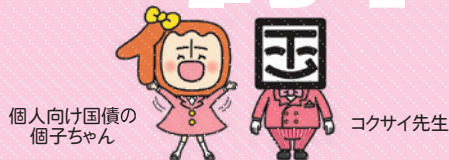


簡単・安心な運用で人生を豊かに!



個人向け国債の
個子ちゃん

コクサイ先生

フリーアナウンサーの馬場典子さんは、「より人生を豊かにしていきたい」と考えるなかで、資産運用に興味を持つようになったそう。そんな馬場さんと、ファイナンシャルプランナーの深野康彦さんから簡単・安心な資産運用「個人向け国債」について学びましょう。



馬場 典子 さん

(ばば・のりこ)フリーアナウンサー・大阪芸術大学放送学科教授。テレビ、インターネット番組、執筆、イベント司会など幅広く活動中。



深野 康彦 さん

(ふかの・やすひこ)ファイナンシャルプランナー・(有)ファイナンシャルリサーチ代表。メディア出演、各種セミナーを通じて投資の啓蒙や家計管理の重要性を説く、わかりやすい解説に定評がある。

それぞれの考え方に合わせた運用を

馬場 典子さん (以下、馬場)
私は会社員時代に加入したiDeCo(個人型確定拠出年金)を、フリーになってからも続けていますが、住宅以外の資産はほぼ銀行預金のみで保有しています。ただここ最近の物価上昇を見てみると、このまま預金中心で大丈夫なのかと不安に感じています。

深野 康彦さん (以下、深野)
iDeCoは公的年金にプラスして給付を受けられる私的年金ですから、老後の不安を解消する目的であれば、そのまま続けていくと良いでしょう。ただしiDeCoは原則60歳以降にしか受け取ることができない制度。今後まとまったお金を使いたいタイミングも出てくるでしょうし、比較的自由に資産を動かせる金融商品をポートフォリオに加えることをおすすめしたいです。

「コツコツ積み立てて未来のチカラに

深野 預金だけでは不安ということですが、その理由はどこにあると馬場さんご自身は考えますか。

馬場 物価上昇と、金利の低さでしょうか。さらに銀行手数料が上がるというニュースも聞いて、このままではいけないなと。

深野 現在の金利は、メガバンクの定期預金で0・002%、普通預金だと0・001%ほど。金利が高い時代は預金で十分でしたが、金利が低い時代は創意工夫が必要です。

馬場 知識も経験もほぼゼロの私には、株や投資信託はハードルが高いと感じます。住宅購入など、未知数なことがたくさんあるので、極力今ある資産を減らしたくないです。

深野 そんな馬場さんに紹介したいのは、国が発行する「個人向け国債」です。年率0・05%の最低金利保証で、元本割れしないというメリットがあります。この安心感のある商品であれば始めやすいのではないのでしょうか。ただ「個人向け国債」は発行後1年経つまでは現金化ができないので、突発的な支出のために現金の一部を手元に残しておくことも大切です。個人向け国債は毎月(年12回)発行しており、しかも1万円から購入が可能。最初に大きな資産を預けるよりも、積み立て感覚で購入していくといいですよ。

馬場 確かにその方が徐々に慣れていくことができそうですね。

深野 そう、資産運用は「習うより慣れる」が鉄則です。1万円でもいいから身銭を切ってみて、実際に運用しながら勉強したほうが効率よく知識が身につきます。

「変動10年」「固定5年」「固定3年」の3種類

馬場 「個人向け国債」は1種類だけなのですか？

個人向け国債 6つの特長

初心者でも手軽に始めやすく、手堅く安心

元本割れ
なし

国が発行
だから安心

0.05%^(年率)の
最低
金利保証

1万円から
購入可能

年12回
(毎月)
発行

中途換金も
1万円から
OK※

※発行後1年以上経過で換金可能です。
※直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685が差し引かれます。

さらに詳しい情報は特設サイトで!
<https://www.mof.go.jp/jgbs/individual/kojinmuke/>

個人向け国債



財務省



深野 変動金利の「変動10年」、固定金利の「固定5年」「固定3年」の3つがあります。これから金利が上がると思うなら変動でもいいですし、手堅くいきたいなら固定でもいい。満期になれば自動的に振り込まれますし、発行後1年が経てば1万円単位で換金もできるので、急な支出にも対応できます。ただしその場合は、直前2回分の各利子(税引前)相当額×0・79685が差し引かれるのでご注意ください。

馬場 長期金利のほうが長い目で見てメリットが大きいと思うので、「変動10年」が気になります。

深野 「変動10年」は半年ごとに実勢金利に応じて変動するので、実勢金利が上がれば受取利子も増えます。「もし下がってしまったら」と不安に思われるかもしれませんが、最低金利保証(年率0・05%)があるので、その点はご安心を。

馬場 投資信託のように値動きに一喜一憂しなくていいのもズボラな私にぴったりです。すぐにでも始めたいくらいですが「個人向け国債」はどこで購入できるのでしょうか？

深野 銀行や証券会社、郵便局でも購入ができます。インターネットで購入可能な金融機関もあります。老後にに向けた資産形成は重要なテーマ。第二の人生の準備のひとつとして、「個人向け国債」はぜひ多くの人に検討していただきたい金融商品です。財務省の「個人向け国債」特設サイト(<https://www.mof.go.jp/jgbs/individual/kojinmuke/>)では受取利子や中途換金調整額のシミュレーションもできるので、ぜひ参考にしてください。

資産運用は「豊かさ」を増やすためのもの

深野 資産運用は豊かさを増やすための方法だと私は思っています。その場合の豊かさとは、金銭の余裕だけではなく、選択肢の多さ。資産運用がしつかりできていれば、その分、選択肢が増えるじゃないですか。まずは「個人向け国債」からはじめて、興味がいってきたら、一歩ずつ他の金融商品を見ていくのが良いと思います。

馬場 それに「個人向け国債」の購入してから、そういうった面でも自分の人生にポジティブな影響を与えてくれそうです。

深野 国は国民生活の安定や維持に加えて、公共施設の建設など次世代も受益できる施策を多く実施しています。ある意味、良い社会をつないでいくための架け橋として国債は発行されているものだと思はれています。

馬場 自分もすっかり資産運用しながら、かつ社会の一員としての意識を高めることができるわけですね。

